学校番号	2101

令和８年度　学校設定教科

教科	自己実現のための日本語	科目	（学）母語継承語Ｆ	単位数	１単位	年次	全年次
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

外国にルーツがあり、自分のルーツの言葉・文化を学ぶための授業です。
クラスのレベルに合わせた内容にしますから、安心してください。
母語継承語を通して、論理的思考力や学習言語能力の向上をはかります。
予習復習があるときは、必ず取り組むようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・学齢期相当の母語での資料などを読みうる言語力を身につける。
・学齢期相当の母語での作文を書くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】
・母語継承語を使って、論理的に物事を考えたり文章構成を考えたりすることができる。
・母文化継承文化について学び、他の言語圏の文化と比較し、考察することができる。

【学びに向かう力、人間性等】
・母文化継承文化を大切にし、地域だけでなく世界で活躍する人材として学びに向かう言語力、思考力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・学齢期相当の母語の資料などを読みうる言語力を身につける。 ・学齢期相当の母語での作文を書くことができる。	・母語継承語を使って、論理的に物事を考えたり文章構成を考えたりすることができる。 ・母文化継承文化について学び、他の言語圏の文化と比較し、考察することができる。	・母文化継承文化をたいせつにし、地域だけでなく世界で活躍する人材として学びに向かう言語力、思考力を養っている。 ・母語母文化に対する認識を深め、日本で生きていく力の糧とし、自己肯定感が高まっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	日本を紹介する	・母語継承語を用いて、その言語を話す人々に日本について紹介する	a:母語継承語で伝える際の表現を理解できる b:母語継承語で、日本事情を効果的に伝えることができる c:　母語継承語力を高めることによる利点を意識できている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・発問 ・記述の点検	・発問 ・観察 ・感想文
	世界の時事問題を知る	・現地メディアから情報を読み取り、現在の問題について考える	a:母語継承語での生教材を読むことができる b:自分の考えをまとめ他者に伝えるとともに、他者の主張に寄り添う姿勢を示している c:自分の考えをまとめ他者に伝えるとともに、他者の意見に寄り添おうとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・記述の点検 ・スピーチ	・スピーチ ・観察 ・感想文
後半	Root to Grow, Fly to Wing	・高校生活を振り返り、自らの将来について考える	a:客観的に自己を振り返ることができる b:自己を振り返り、自らの将来について考察し、解決策を考えることができる c:自らの考えを、母語や日本語を用いて他者に伝えようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・発問 ・記述の点検	・スピーチ ・観察 ・感想文

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度